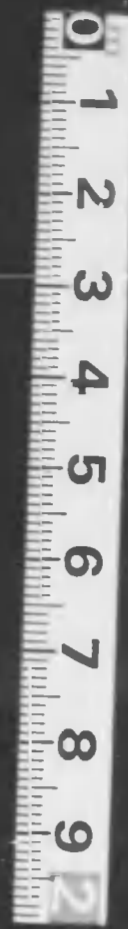


週報
寫眞

情報局編輯

八月五日・第二冊第二十七號



札立の時

（日露水）

第七十三巻

地を蹴りて隼は空に征き
 遂に歸らず
 南溟の虚空高く
 雄魂は神と歸したり
 己れの死灰の中から甦り飛び立つといふ
 不死鳥のやうに
 その英魂から生れ羽ばたく幾萬の
 護國の隼のあることを信じよう
 死せず 荒鷲死せず



噫、軍神 加藤建夫少將



陸軍少将の加藤建夫少将は、南方方面
 には通ぐる五月二十一日、印緬國境方面
 で敵機と激戦中不意愛機に火を食ひ、
 燃焼さかまくインド洋上に空征く屍と
 なつて散つた。これが加藤少将の最
 後であつた。
 この壯烈な戦死傳はるや、南方方面
 陸軍最高指揮官寺内大将は、痛惜極
 りたしとして、抜群の武功を賞したが、
 その感状は長くも天聽に達する光榮に
 當り、特に陸軍中佐から陸軍少将へと
 階級を進級せしめられたのであつた
 何といふ餘榮であらう。
 加藤は支那事變勃發以來、支那大陸
 に、マレーに、スマトラ、ジャバに
 として最後はビルマに、主要作戦には
 いつも加藤少将の現はれないことは
 なく、怒るべき攻撃とすばらしい技
 能を以て、實に敵機二百數十を撃破
 し、向ふ所敵の群衆は悉く潰伏せしめ
 られたのであつた。しかも高邁なる人
 格と卓越した指揮統率によつて全空軍
 に鳴り渡り、感状を授けられること皆
 に七回、まことに空前の武人であつた
 あ、この空の至寶も今は亡く、英
 靈は全國民の限りない感謝と崇仰をあ
 つめて、とこしへに神靈まつた。しか
 し軍神の千古不滅の忠魂と燃ゆるか如
 き闘志は大東亞のいよまた光と共に煌
 然ときらめき、われら皇國民の胸中に
 いつまでも生き残るであらう

在りし日の加藤少将

双葉な神鷲の面影



北海道川市から東へ一里半、あるが川原の
 國大雪山を望む上川郡東川村が軍神の生地
 で、明治二十六年九月二十八日、父藤藏氏、母き
 みさんの一男として、軍神と号す。故郷を離れ海
 軍に志す。父藤藏氏は京都府城陽郡の生、明治十九年
 十六歳の時京都、通商の南野原、選ばれた電
 田島にまじり東川川村に移り、官立小學校に
 入り、翌年上野山に轉校、日露戦争が勃發
 し藤藏氏は名譽の召集となり、軍神といふ。乃本
 軍に従ひ、明治二十八年一月、年々人言戦で壯烈
 な戦死を遂げた

母のきみさん、このとき母が廿八、十歳の
 長男幾夫也君、五歳の貞子さ、此の建大少年
 が、一歩を踏み出し、母の女として恥
 ぢない生活がはじまらる。明治四十三年四月、
 八歳になった建大少年は東川村小學校に入學し
 た。生れつき無口ではあつたが、明朗活潑なこ
 ゝ子供であつた。成績もスバ抜しく、美術と手
 工が好きであつたといふことある。



建大少年の父と母。藤藏氏で日露戦争の勇士
 下は東京市山手區の官立小學校の同級生、同
 じく右から、三君六、田嶋君、木下君、三
 君、三君、大八、大男、建大少年、建大正朝
 臣、建大少年は家庭に於いて「とてつとて父」で
 カリヤ、一はけました。



中學生の頃立てる右端一家は東川川村の製紙に寄寓して
 一、母（建大中央）を中心、後に亡くなった兄さん（左
 一、建大中央）を中心、後に亡くなった兄さん（左
 一、建大中央）を中心、後に亡くなった兄さん（左
 一、建大中央）を中心、後に亡くなった兄さん（左



有は供い方であつたかな？、一決心が強く、小さい者
 一、おれをする思ふをつかまへては、振舞よく救した建
 大少年と幼年學校在學中の兄幾夫也君

たかみん在東大少年の宮ことよく問いた。もと
 一、おれをする思ふをつかまへては、振舞よく救した建
 大少年と幼年學校在學中の兄幾夫也君

一、建大少年、東川村小學校に入學、後等生で進道が好きで
 一、建大少年、東川村小學校に入學、後等生で進道が好きで
 一、建大少年、東川村小學校に入學、後等生で進道が好きで

一、建大少年、東川村小學校に入學、後等生で進道が好きで
 一、建大少年、東川村小學校に入學、後等生で進道が好きで
 一、建大少年、東川村小學校に入學、後等生で進道が好きで



幼年學校に入校した少年は誰しかつた。よく學びまたよ
 く身體を鍛へた。アルペムにも思つた地生徒と自分の
 實力を並べて他校軍地方幼年學校の思出と井いてある



大正十年四月陸軍士官學校新入校。明明女性格と明瞭
 な態度で親友に尊敬され、身體も堂々とでき、運動は種
 類を問はず好きであつた後（左が軍神）

同十四年七月、陸士官を卒業（第三十七期生）して直ち
 一、建大少年、東川村小學校に入學、後等生で進道が好きで

聖年所進陸軍飛行學校に入校、昭和二年卒業、陸軍の時計
 を製せ、いよ／＼航空兵として出發、昭和十三年三月、
 北支での歸々たる武勳によつて最初の感状が授けられた



この頃から軍神は危險を冒して第一線に挺身、思ふ存分
 敵艦を襲へた。殊に鴨綠江邊での大戦果はずばらしかつた
 （北支の陣中に小隊を愉しむ軍神）



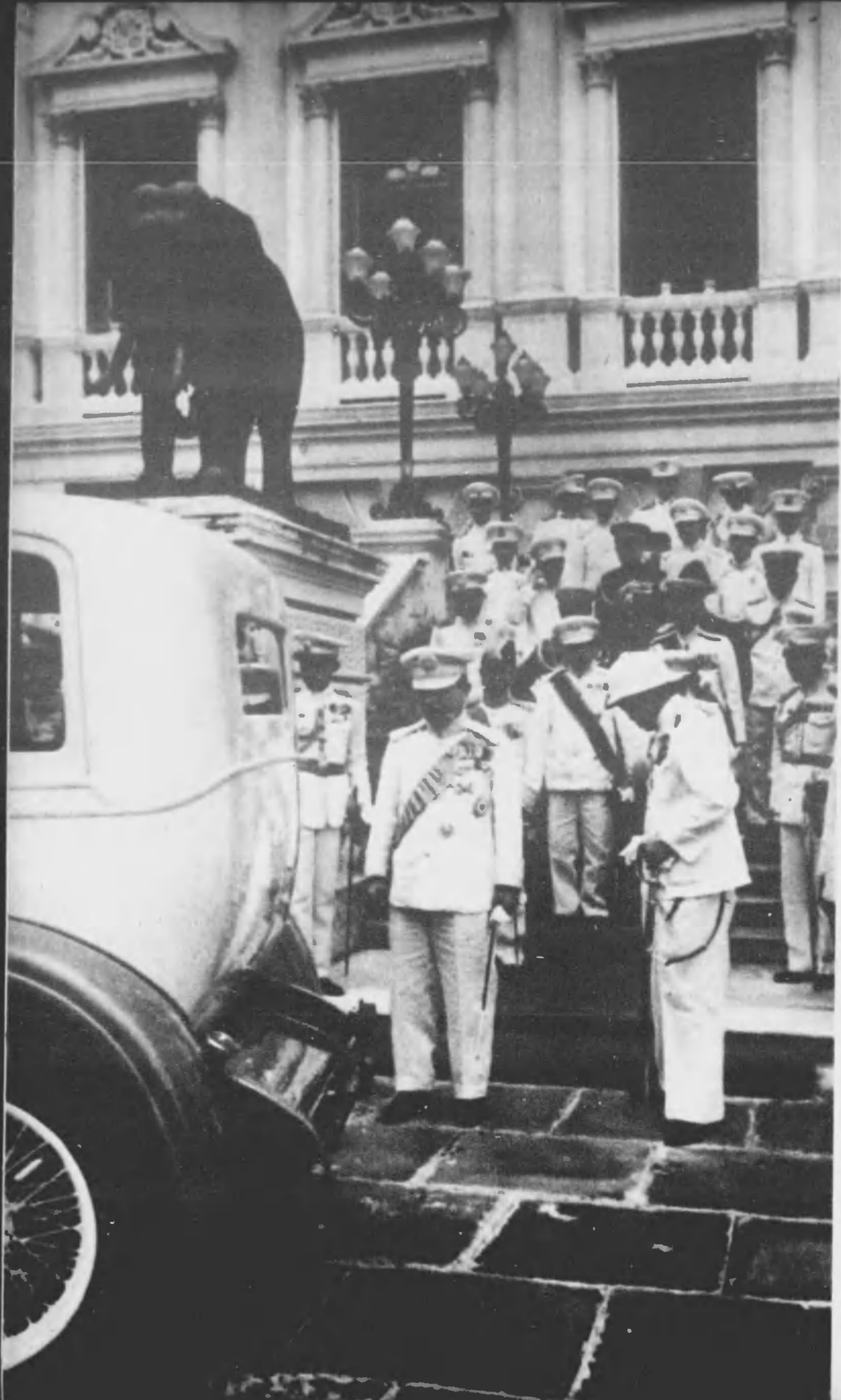
北支陣戦後、陸大進科に學ぶ。昭和十四年七月、寺内大
 將の隨員として露伊訪問の途に上る。實戦の體驗者
 として選ばれたのであつた（前島氏にて、中列右）



寺内大將に隨行してドイツ、イタリアを訪問、悉く軍
 神は空軍日本の立場からひそかに武勇を見學したことで
 あらう（右から二月、中折柄）



大東亞戦争勃發以來、南支を轉戦した軍神、どんなに
 勞してゐても敵と知れば出動を懇願、まことに不出の
 誠であつた（ハランペン或嶺頂上、右前第一一人目）



廣田特派大使

□ 國王陛下の重大使命を受けた廣田大使は王宮を離れ、王室茶館の自動車で前倉に向ふ

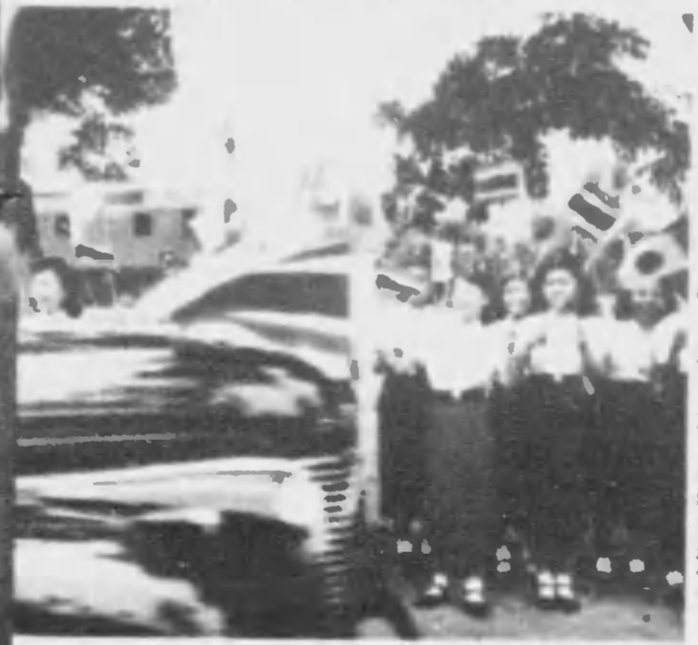
在タイ國 日本帝國大使館
在タイ國 杉山・尾崎兩特使
日タイ兩國は終始協力、東亞
興隆の理想實現に邁進せんこ
とを強調してタイ國民に非
常に感銘を與へた

使命果たし



□ フラタオ王宮を脱して歩を過ぎ、一行、中央廣田大使、その後、廣田大使、左、廣田大使

七月十日バンコク、ジャットラー
本道に到着した廣田大使は出迎への
ビアン首相と感涙の握手をした
日タイ同盟慶祝管轄使節廣
田特派大使は七月十二日、白
の大禮服に威儀を正し、隨員
一行を従へて、タイ國王宮に
參入、謁見の間に攝政會議
議長アジット殿下に拜謁、
天皇陛下よりタイ國王帝への
國書を捧呈して、こゝに特派
大使としての重大使命を清
く終了した。使節一行は
タイ國政府要路者と會見、色
見を交換するとともに、新聞、
ラジオを通じて同盟國たる

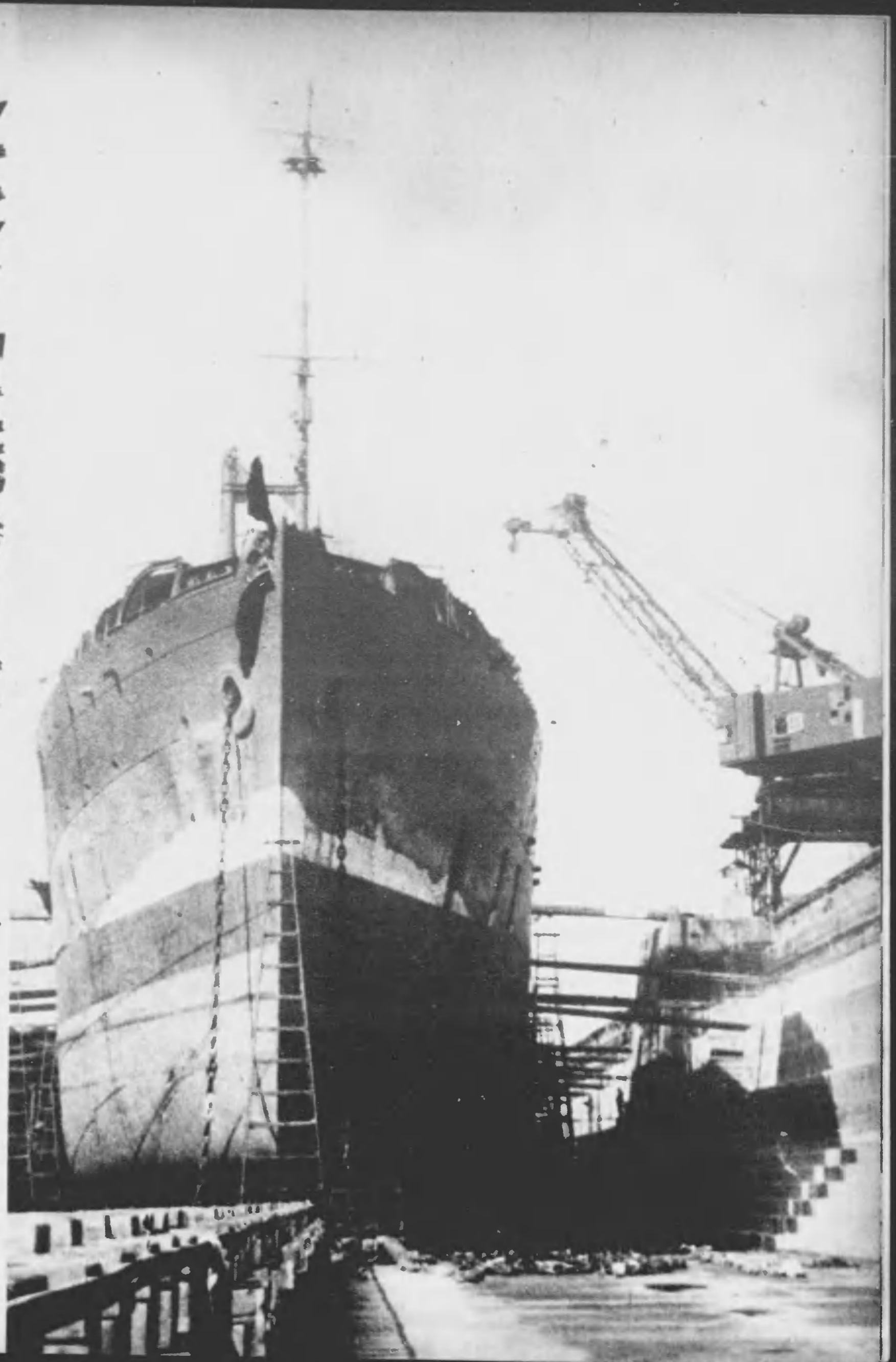


□ 慶祝一色にぬりつぶされた道にはタイ國女學生が兩儀を打ちふつ一行を迎へた



□ けらんたるナンテアの下に情緒豊かなタイ國舞踏がくりひろげられた
□ 樂會の終、タイ國舞踏に拍手を送る廣田大使



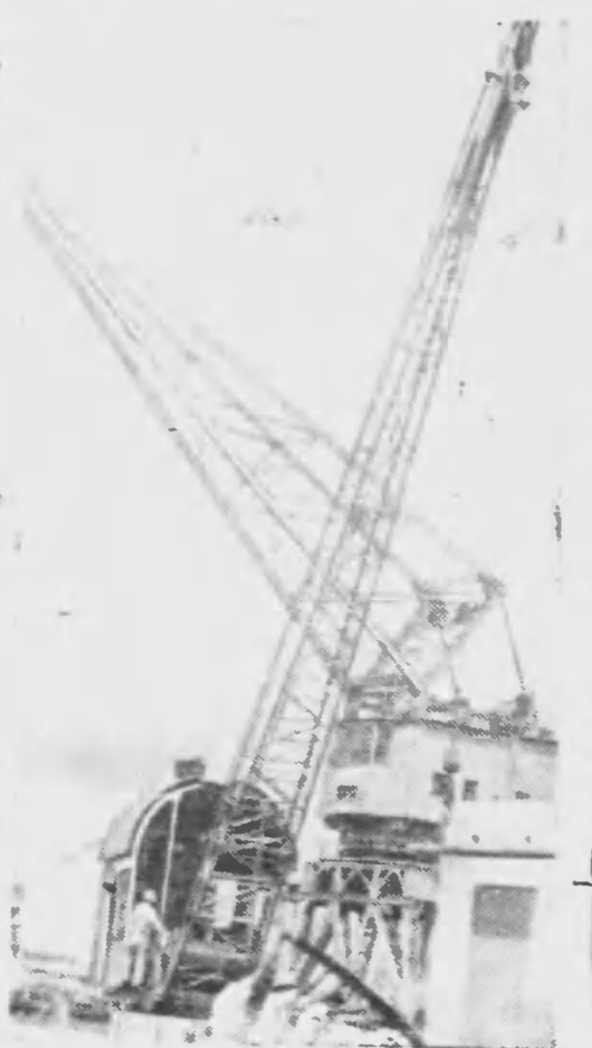


セレター軍港今々全し

昭南島

船中ドックの復旧は先づキンクス・ドックの排水ポンプから
 始めた。復旧したキンクス・ドックで修理中の船が輪船
 スクリューの修理をするマレー人工員 撮影 木村海軍報道班員

各地の皆さん、昭南島の
 行船は昼夜兼行でやつてる
 ために、實にめざましい
 ことになっています。例を昭南
 島について見ても、私
 達ははじめて昭南港に上陸
 した時に、船所の機械は
 全部モーターといふモー
 ターは全英軍のために破
 られてしまふ。それ
 が五日後、後の今日で
 は完全とまでにはい
 ませんが、自費に十分の力でも
 修理する予定です。



早くもクレーンの運轉を開始したセレター港

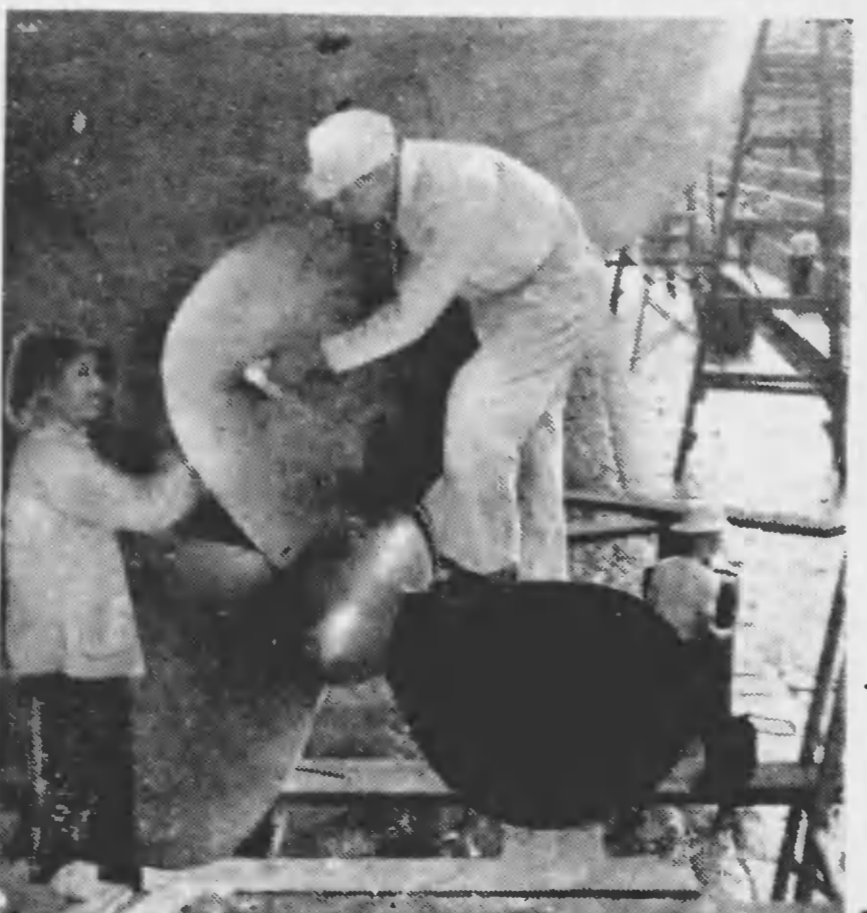
「兵としてはマレー人、支那人、インド人などを使つて
 ますが、これらの使用人はほとんど皆、現在では〇名
 しか残りのぼつてゐます。しかし作中の上で一番困ること
 は、食糧の不足です。このため日本船、支那船、マ
 ーレー船が自費に十分の力でも修理する予定です。」

「イニビストン快々の船」といふと、イニはマレー語の「これ」の「マ」ビストンは英語、快々の支那語の「早く」を合して「この意味で、このビストンを早く倒れ」となつてゐる。

昭南島の船所は、元々ケルメル・ハーバーとランジョン・ベイの二つに分れてゐましたが、昭南島の命名とともに第一船所、第二船所と日本名になりました。船所といふのは、船が一年に一回はドックに入つて、船底についた鏽や油草などの附物を削り落さないといふ、燃料や電力の點検や油草を削ることにあります。かゝりしたときに、船所の中心にある昭南島のドックが復舊して、この役割を果してゐることにほほほほです。先日は修理をした〇〇〇〇〇〇船とドックを出て見ましたが、その姿を眺め、私は、昭南島の船所を叫びました。



「手紙、戦場の兵隊さん、戦後の家族も待たれるものは手紙の舞込みだ。これは昭南島から戦後の信、ナへのうれしい信りかうんと同じである。手紙の舞込み」



石炭の輸送にマレー女は力を注ぐ

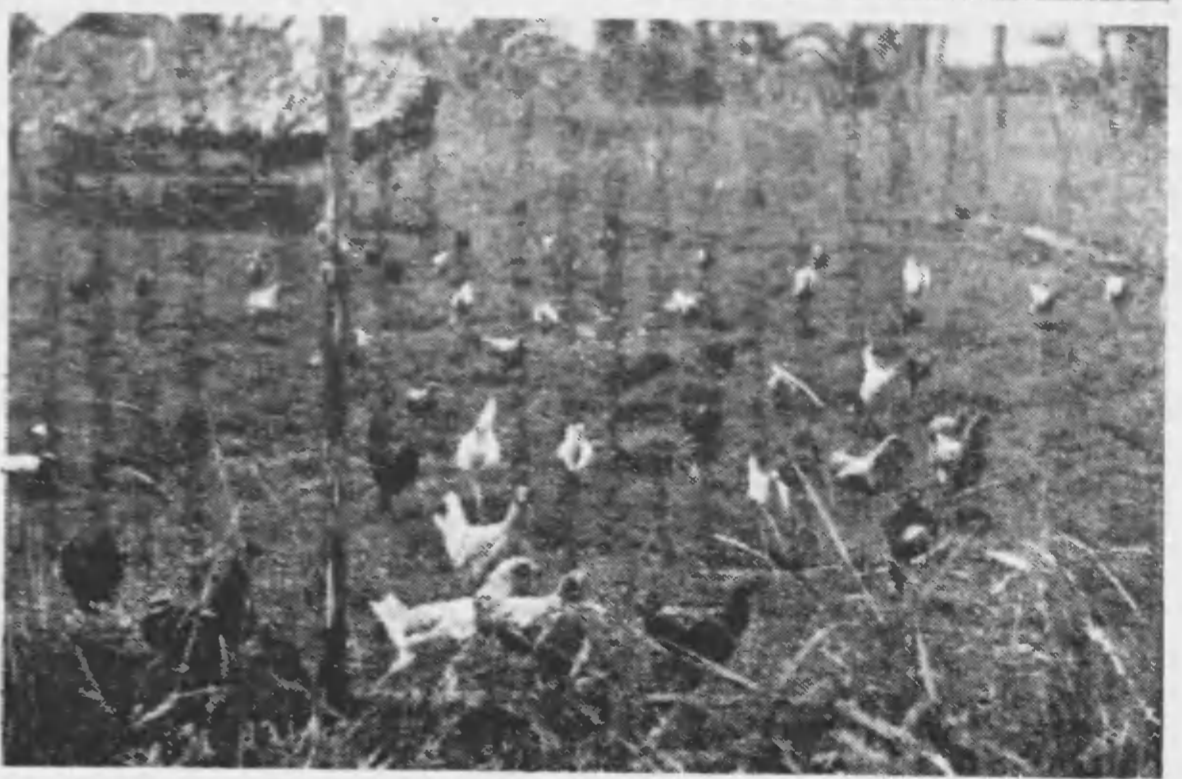
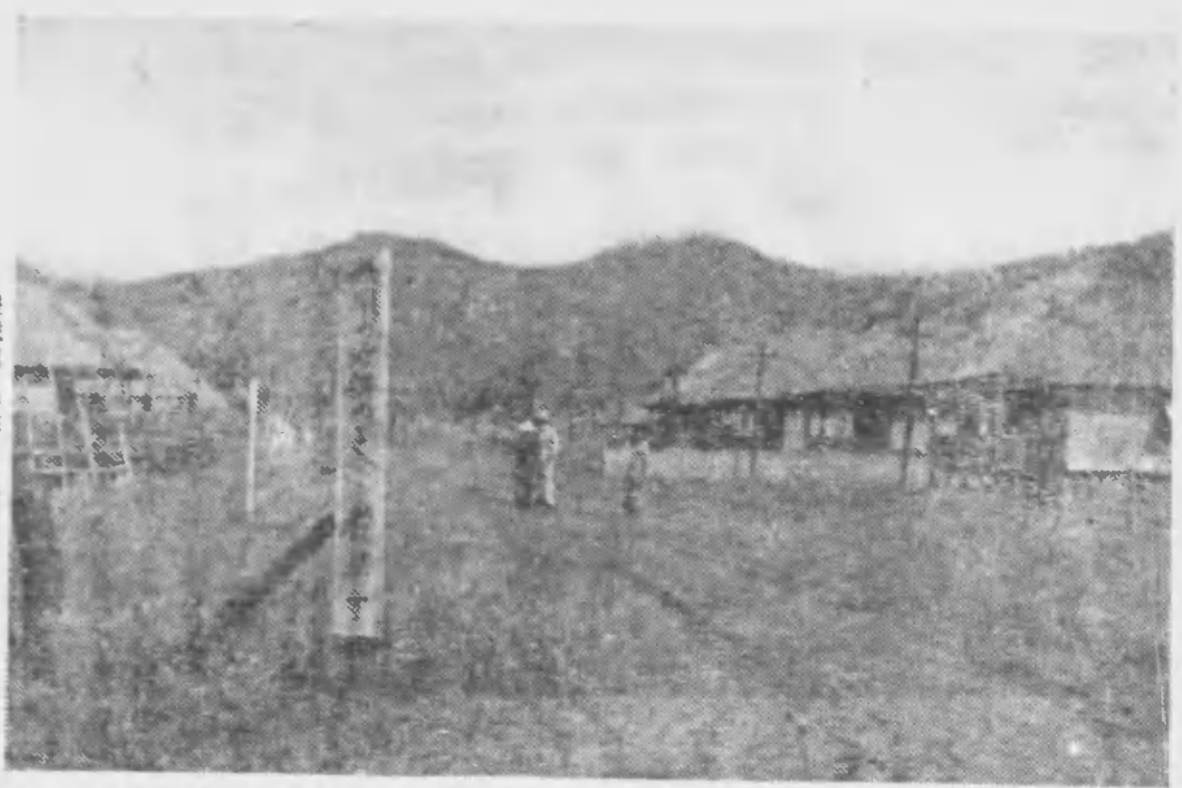




ベナル・コロニーには、八百五十頭ばかりの牛が



先住民は、無用の者種内に入るを許さず、牛を立して、囚人部落の保護を固めてゐる



囚人たちは、わが國から輸入した名古鷹コイナンの鶏を飼つてゐる



三百五十町歩もある水田の維持には忙がしい。腰に吊つた鎌刀は、苗を束ねる彼等は素外おとなしい

囚人部落も日の丸に協力

—島ンワラパ・ンビリイフ—

指導に來たわが陸軍隊の歸りを見送る囚人とその家族たち

この僻かな囚人部落にわが陸軍隊がはじめて進駐したときは、囚人の間に相當の動搖を來したといはれるが、○隊長の温かい適宜の處置で、すつかり落ち着き、今ではかへつて敬ひの神として全囚人が慕ひよつてゐる。

囚人は殺人、強姦、婦女暴行等の罪を犯し三年以上の者ばかりで、全部赤い服を着て作業をしてゐるが、ベナル・コロニーは實に大掛りなものである。

このベナル・コロニーはアメリカの最も進歩した刑事政策によつて實施されたものといはれ、重刑者は洗罪に處して閉鎖工作等にあたらせ未開地の開墾と職とを興へながら改悔させよとするとする一石二鳥も三鳥もねらつたもので、一九〇四年の創設といはれ古い歴史を誇つてゐる。

撮影 國平海軍報道班員



赤い服を着て、彼等は農場でせつせと働く



くわ呼歡に草煙の給配

町のダンリマサ・オネルホ

タラカン島の攻陥に續いて皇軍が南部ボルネオの首都パリックパンに上陸したのは去る一月二十四日であつた。それから半歳餘り、皇軍の指導の下に、南部ボルネオは東西の共榮をはかつて活潑に動きだした。パリックパンの北麓、石山の町で名高いサマリタの姿を紹介しよう。

皇軍攻下のサマリタの町に、民政部長官が先陣を出動して、住民の慰問にあたつた。皇軍の進軍に押された人々の顔は、



撮影 谷村海軍報道班員

町民の多くは、皇軍の指導を受けるには、先づ見せしめられた。開かれた日本語学校にインドネシアの青年男女は殺到する。



皇軍の進軍を拜解したサルタンは、自ら進んで皇軍に協力する。サルタンは王座を離れて、皇軍の敷地に居る。



サマリタの皇軍ローリー・テイカ(三)車に乗る。日本製の日本セーター(二)一家に仲よく三輪車に乗つて親戚を訪問する。





「来たて、頂上を」かつ「敵軍高く日章旗を打つて来たあつた、山登りは愉快だよ、と加藤さんの元氣な氣遣いも頼母しい



出発を前に脱いで山登りには愉快だよ、と加藤さんの元氣な氣遣いも頼母しい



「敵軍高く日章旗を打つて来たあつた、山登りは愉快だよ、と加藤さんの元氣な氣遣いも頼母しい

頂上淺間神社の院の前に祈願をこめ、高々と傷兵五人五五を擡送する



電車で富士吉田駅についた一行は、國威宣揚隊を先頭にまづ吉田口の淺間神社に参拜した

片足登山隊

東京府下傷兵軍人の國威宣揚隊富士登山

大日本國軍軍人會東京府支隊の傷兵、勇士達は、御國に脚を擡げて以來、歩一步、あせらず失墜せず、再起の道を見つけてきた。人生の志をそのまゝに、さらに強い試験に耐へようと七月二十二日、國威宣揚隊の富士登山を決行しました。

☆



草鞋の紐も締め直した。さあ脚よ、しつかりたのむぞ



防空待避の作り方



空襲の場合、焼夷弾は一つ残らず落下するといふ覚悟で、一家揃って明かりを消し、家を守るべきである。しかし、敵機は焼夷弾といつしよに爆弾を用いることもあり、不用意に高い姿勢で窓際を立つたり、外へ出たりすると、爆弾の破片や爆風で思ひがけない大怪我をしたり、命を落とすことがあります。ですから、高射砲の音や飛行機の爆音が聞えたら、すぐに手近な場所へ待避して、一時危険を避けることが必要です。すでに待避したやうに、備へさへあれば空襲は何ら怖るゝに足らないものです。私たちは、こゝでよいと防空必勝の要領を述べるために、防空上必要なところでは、なるべく早く適當な待避施設を作りませう。手ぬぐいふまでもなくこの待避所は決して逃げかくれるためのものではなく、無駄な被害を避けるためほんのしばらくの間待避するところですから、焼夷弾が落ちたことを知らずその時には、すぐさま飛び出して防避活動に移らなければなりません。そのためには、防火用水やバケツ、砂などの消防資材の置場所をもよく考へておいて、いざといふ場合にまごつかぬやうにいたしませう。

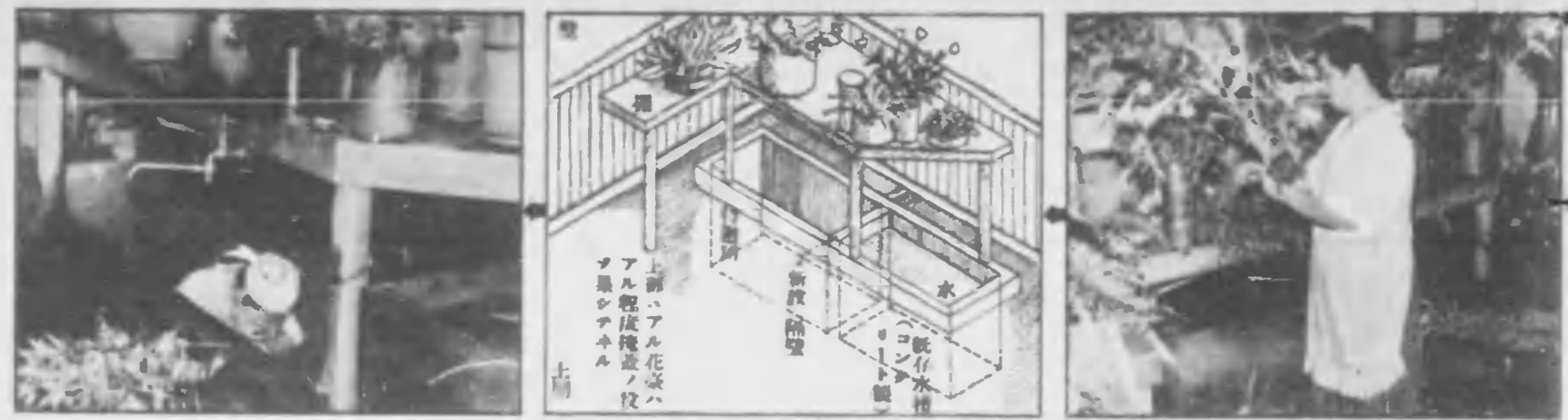
待避場所の危険率比較



待避所の位置及び構造

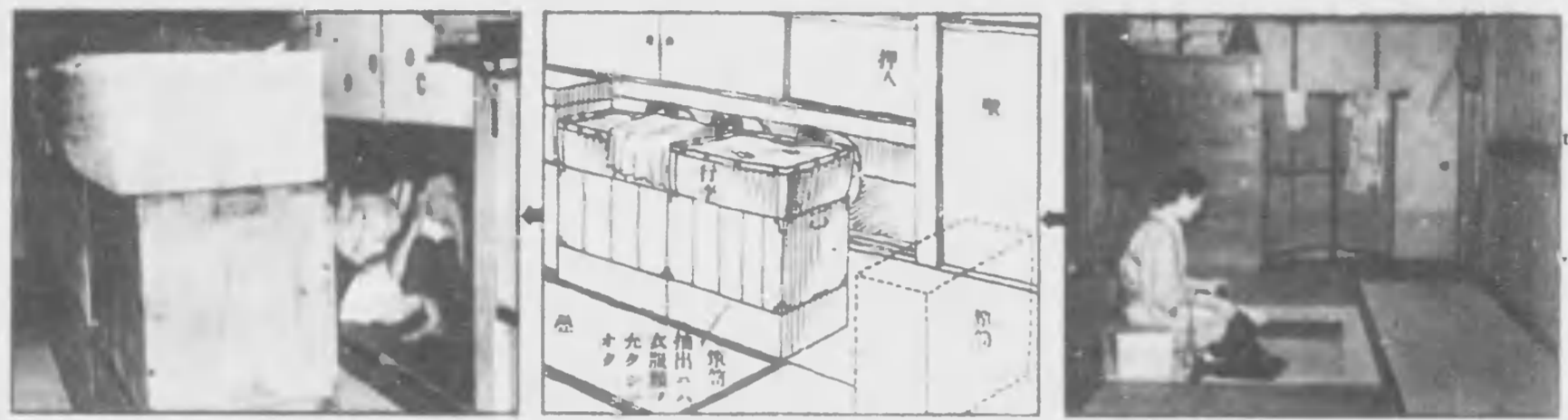
- 位置 待避所の位置は屋内でも屋外でも構いませんが、屋外の防空壕ですと雨水が流れこむ心配とか、夜間や寒時の使用に向かないといふやうな難点がある上に、自分の家に落下する焼夷弾を監視し、緊急防火のため迅速に出動する上にもとく不便ですから、やはりなるべく屋内に設けることが望ましいわけです。
- 高さ 大抵待避者四人について半坪（一坪程度が標準です。但し床下に設ける場合、土を掘る途中で水が湧いてきて十分の高さが得られないので、うつ伏して待避するものでは二人について半坪程度とします。なほ待避所はこの家の居住者全員を収容できるだけのものを作らなければなりません。被害を一部分に限るために、一箇所の収容人員は五人程度の小規模のものを分散して設けるが、大規模のものでも二十人程度を限度とします。
- 深さ 坐つて入れるくらいがよいのですが、やむを得なければうつ伏せになつておられる程度でも十分です。従つて坐式のものには大體九十センチ（約三尺）、伏式のものには大體三十五センチ（約一尺二寸）が標準です。
- 周壁 地面を掘つたものはそのまゝでよいのですが、地上につくる場合は周壁を設けます。周壁の厚さは、土砂を盛り上げたもの……八十センチ（約二尺六寸）、土裏や空箱に土砂を詰めたもの……七十センチ（約二尺三寸）、板と板との間に砂や煉瓦などを詰めたもの……五十センチ（約一尺七寸）、角材を積み上げたもの……五十センチ（約一尺七寸）、土を敷いたもの……九十センチ（約三尺）、部材を積み上げたもの……百センチ（三尺三寸）、書棚などを詰めたもの……四十センチ（約一尺三寸）が標準です。
- 床 厚さは少々薄くてもそれ相當の効果が得られます。また、土を敷く場合は、土を敷く材料は必ずしもこれに限つたわけではありません。また、厚さは少々薄くてもそれ相當の効果が得られます。また、土を敷く場合は、土を敷く材料は必ずしもこれに限つたわけではありません。また、土を敷く場合は、土を敷く材料は必ずしもこれに限つたわけではありません。
- 下敷き 普通の場合下敷きを敷きませんが、水が湧くやうな場所では、土を敷く材料は必ずしもこれに限つたわけではありません。また、土を敷く場合は、土を敷く材料は必ずしもこれに限つたわけではありません。

待避所の種類



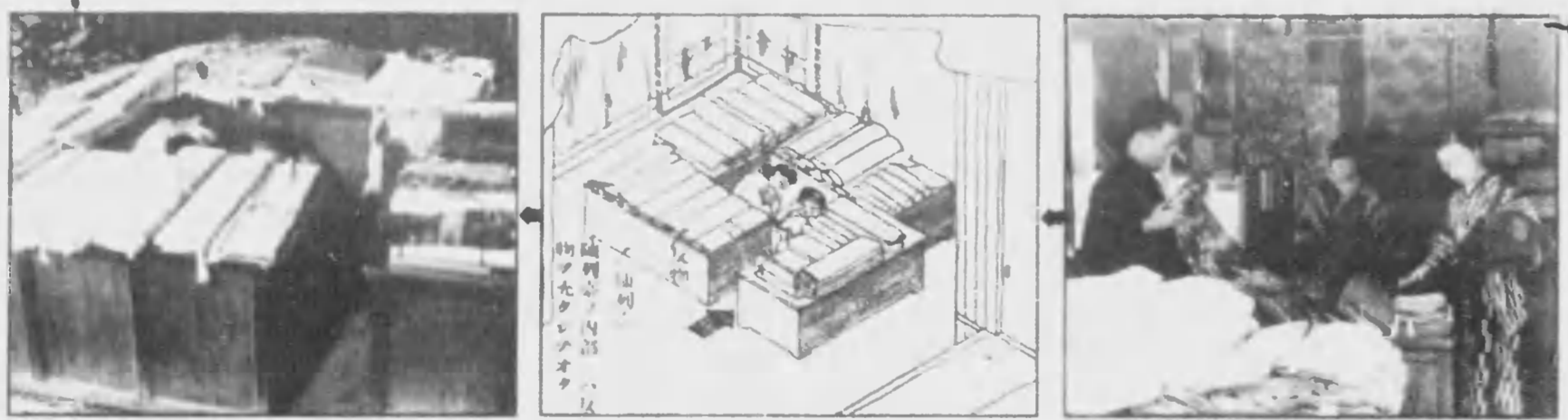
待避所の種類 1. 壕内 2. 室内 3. 露天

待避所の作り方



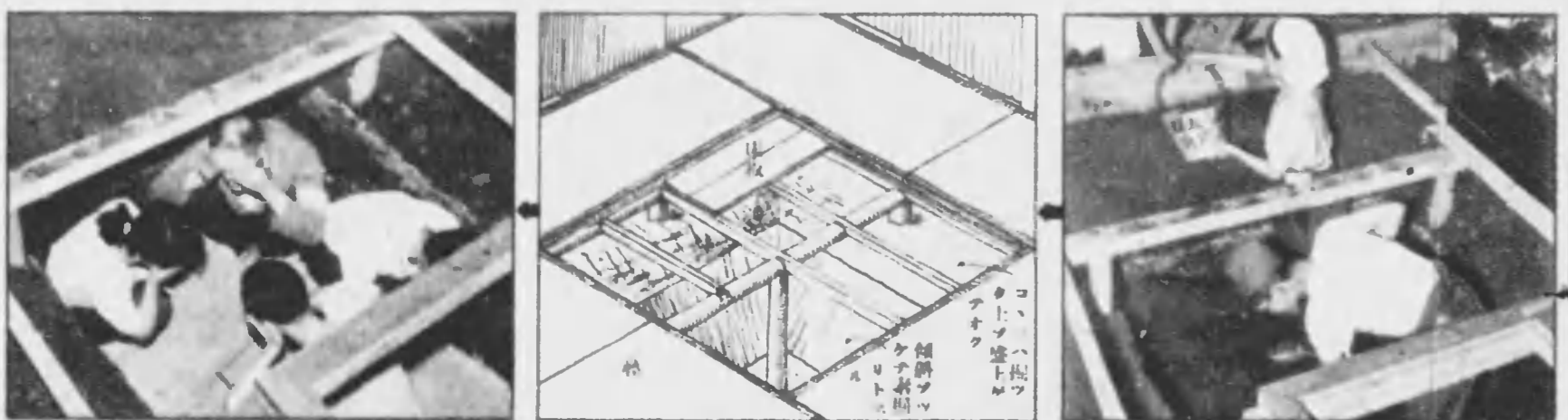
待避所の作り方 1. 壕の掘削 2. 土の盛り上げ 3. 床の敷き

待避所の材料



待避所の材料 1. 土 2. 煉瓦 3. 木材

待避所の注意



待避所の注意 1. 火気厳禁 2. 換気 3. 避難経路



壮丁金に 槌あがる

埼玉縣水着丁社の會分人軍 在町父秩縣玉埼

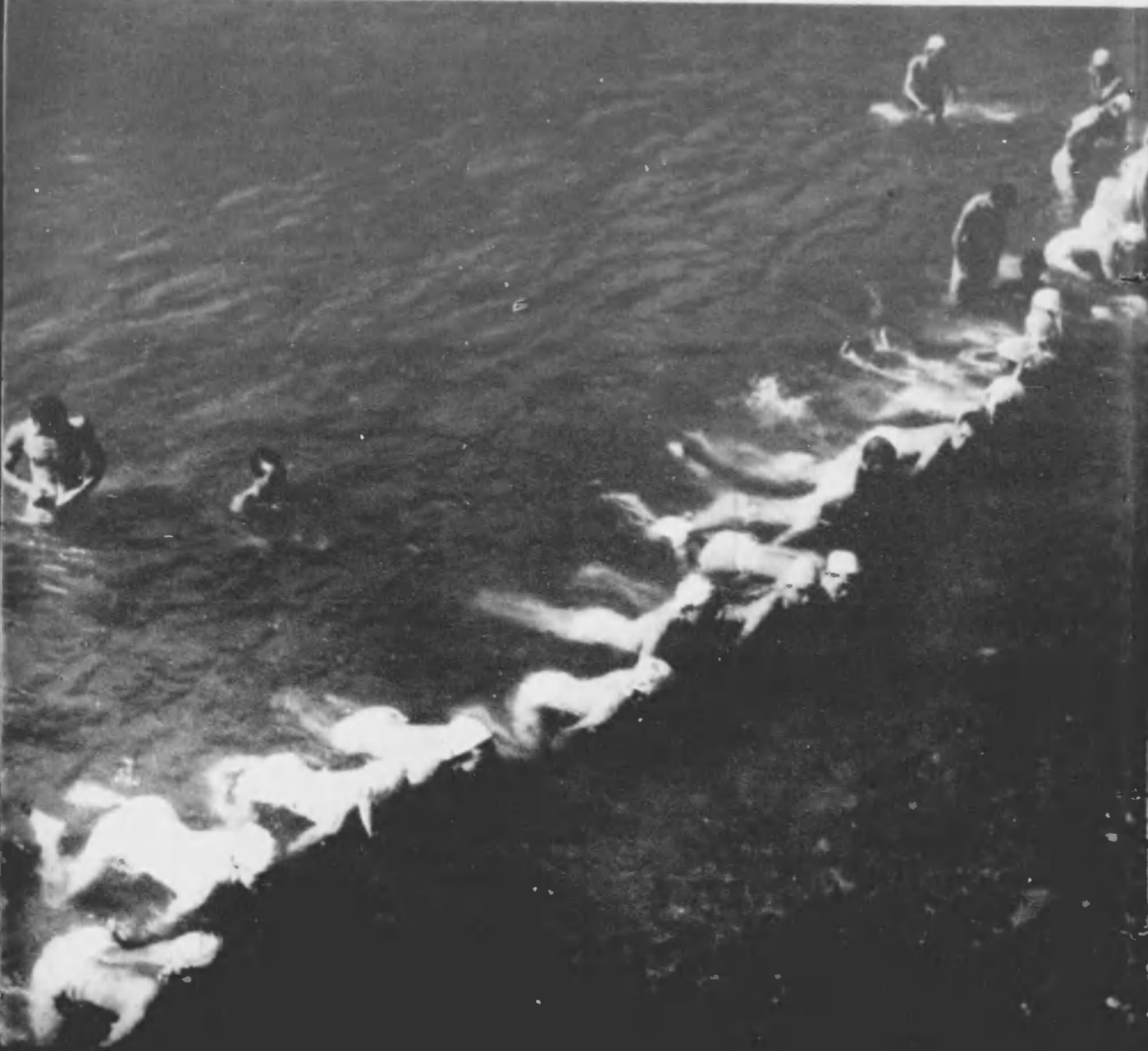
約けつく河原で水着の準備運動

埼玉縣 清水武甲

甲種合格の壮丁も、金槌とあつては海軍男子としてまことに恥かしい大軍であり、敵前上陸や敵前渡河に十分の訓練が出来る。埼玉縣秩父町の在郷軍人分會では、このほど三日間にわたつて附近の荒川武甲水泳場で本年度壮丁者の水泳講習會を開きました。水にはこれまでからつきし息地のなかつた金槌部隊の面々も、さすがに今年は大戦下だけにその気構へはものすく、緊張一帯死者狂ひの訓練をつけたので、一人残らず見事河原に昇格、「兵隊さん水泳」に大きな成果を収めました。



指導員の命令一一致の訓練が始まる



水泳講習會場に来たつた壮丁の金槌部隊

指導員から水泳時の注意を受ける

誰でも覚えのある金槌部隊の水泳第一課



いしら夏かスーソスーネヨマに登の紅真
場のご論勿 タラサガリザる味を覚味
すでとこる茹くよも合

サリガニ 殲滅戦

東京市葛飾区

□ たもやベケツを手に四戸名のサリガニ 殲滅部隊が、上小松下小松一帯の吉田めざして進軍す



サリガニの正體。
淡水産の一種で
クロコブツシ
（淡水大蝦）とも
いわれる

東京市葛飾区小松国民学校内の
小松少年團では團員を總動員
して、先生の指揮のもとに
附近一帯の水田を荒す

害虫サリガニの蟻地獄に
進軍、サリガニを泥だらけにし

て取除、鮮々たる戦果をあげました
この害虫サリガニは大正十一年頃アメリカから觀賞用と
して一好事業家によつて輸入されたのが、わが國の氣候風土
に適したものが特に東京近郊の水田にまたたく間に繁殖、
苗代や水田にもぐつて稻の根を食ひ、或はは、蟻地獄の牙
を切断し、時に大穴を開け、泥鰌や鰻を食へます等いたづ
らの限りをつくしてきたもので、東京市農會ではその対策
として、この地方だけでも昨午は農家、學者等の勤勞本仕
を得て六百員も捕獲し、或は石灰窒素、ハルタ（除虫菊
油）等の化学薬劑で殲滅をかけたことなりましたが、
その強い繁殖力と強い生存力のために今日なほこの通り泥
の蟻地獄が續けられてゐるのです。このサリガニは蟹とそ
つくりの味で仲々おいしく、飼料、肥料にもなりますが、
寄生虫肺腫チス
トマの中間媒介
となりますから
食用に供する場
合は生で食へず
必ず茹るかフッ
イにして食へば
なりません



□ カット照る眞夏の陽がサリガニ少年達の眞をこがす。だ
が吉田を渡る風の涼しさ、少年達はわかれを忘れて害虫退
治に敢闘する



□ 一、二を山登られた、赤い色のね、前上げられた
サリガニの眞紅の山を前人で少女の影か、



撮影 吉田 榮



てつきんわぐんだ

割増金附戦時郵便貯金切手

一枚二円割増金等千円以下多数・當籤率十分之一枚二枚一

・毎月八月日から賣出します

・賣切れぬ中に早おく郵便局へ

内閣印刷局印刷發行

昭和二十一年八月一日發行